

La Traviata

—椿姫ハイライト—





海老原 光

[指揮]

鹿児島生まれ。東京芸術大学を卒業、同大学院修了。その後、ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュ各氏に師事。2004年から2006年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、飯守泰次郎、矢崎彦太郎両氏の薫陶を受ける。2007年ロブロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第3位、2009年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで第6位入賞。2010年アントニオ・ベドロッチ国際指揮者コンクールでは審査員特別賞を受賞。2010年から2015年まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクターを務めた。これまでに、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、ほかを指揮し、客演を重ねる。2011年より毎年霧島国際音楽祭にも登場している。また、2012年に続き、2015年1月に再びクロアチア放送交響楽団の定期公演（ザグレブ）に出演し、現地で好評を博した。

公式ホームページ <http://www.hikaru-ebihara.jp/>



特別出演

与那城 敬

[バリトン]

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業、同大学研究科声楽専攻修了。二期会オペラ研修所及び、新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。第16回マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール第3位。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。06年『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモで二期会オペラデビュー。その後小澤征爾音楽塾特別コンサートにて『カルメン』エスカミーリョ、二期会では『エフゲニー・オネーギン』タイトルロール、『フィガロの結婚』伯爵、新国立劇場では『愛の妙薬』ベルコーレ、『鹿鳴館』（世界初演）影山悠敏伯爵、『沈黙』フェレイラ、日生劇場『メディア』（日本初演）イヤゾン、北とぴあ国際音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール等に出演。昨年末のNHK交響楽団定期演奏会ではシャルル・デュトワ指揮『カルメン』にモラレスで出演。国内オーケストラと共演した『第九』（読響）、オルフ『カルミナ・ブラーナ』（東響）、マラー『大地の歌』（日本センチュリー響）のライブ録音も高く評価されている。宗教曲においてもバッハ・コレギウム・ジャパンをはじめ様々な団体のソリストとして活躍している。また「題名のない音楽会」「名曲アルバム」「東急ジルベスターコンサート」「BS日本名曲アルバム」等のテレビにも多く出演。ソロアルバムでは『FIRST IMPRESSION』をリリース。本年10月には二期会オペラ劇場「蝶々夫人」シャープレスで出演予定。オフィシャルサイト<http://yonashiro-kei.com/> 二期会会員



谷口久美

[ソプラノ]

本日はお忙しいなか、皆様にご出席を賜りありがとうございました。
私は25歳でクリスチャン ディオールの初代駐日代表に就任して以来
長年ファッションの仕事に携わって参りました。
子供の頃から学んだピアノは苦痛でしかなく、音痴は絶望的でした。
コンプレックスの一つでした音痴を克服するため
仕事の合間に嗜み始めた歌のレッスンでしたが、
7年前より二期会のトップスターのお二人、テノールの小貫岩夫先生と
バリトンの与那城敬先生に師事、本格的な声楽の指導を受ける
チャンスに恵まれました。お二人の熱心なご指導のお陰で
今では歌うことが何よりの喜びになっております。
趣味が高じて、紀尾井ホールをはじめ、サントリーホール、
軽井沢大賀ホール さらにフィレンツエやローマでも
演奏の経験をさせていただきました。
オペラ愛好家が集うグループ、「白金カンタービレ」の
チャリティーコンサートを毎年開催させていただいておりますが、
今回はLa Traviata「椿姫」のハイライトを
私の最後の挑戦として企画させていただきました。
拙いVolettaですが、どうぞ最後までお楽しみくださいませ。

公益財団法人 東京二期会理事
クリスチャン ディオール株式会社特別顧問
国連UNHCR 協会顧問



YAMAMOTO
HARUO

友情出演

山本治男

[テノール]

この度、「白金カンタービレ」を主催される谷口久美さんより、オ
ペラ「椿姫」を公演されるに際して、お誘いを頂戴し、プロの歌
手でも難しいと云われる「ヴィオレッタ」役を演じられる谷口久美
さんに舞台上でエールを送りたいと思い、過分な大役ではありますが、
友情出演をさせて頂く事となりました。今回のコンサートでは、
仕事仲間である実業家兼声楽家でもあるバリトンの長慶太氏との念願
の二重唱や、日本を代表するメゾ・ソプラノの澤村翔子さんとの二
重唱にも分不相応ではありますがチャレンジをさせていただきますの
で、温かいご声援を頂ければ幸いです。これまで、白金カンター
ビレに参加させて頂いて以来、小貫先生、与那城先生のご熱心で
懇切丁寧なご指導のお陰で、毎年のように紀尾井ホールやイタリ
アでの演奏を経験させて頂き、少しずつ声の巾も広がり、歌える
アリアも多くなり、皆様にご披露させて頂けます事を心より感謝申
し上げます。皆様のご協力により、我々の愛する声楽を通じ、難
民支援のチャリティー活動が出来ます事を厚く御礼申し上げます。

株式会社ラルゴ・コーポレーション代表取締役 山本治男



CHO
KEITA

友情出演

長 慶太

[バリトン]

この度は、日頃より白金カンタービレでご一緒させて頂いておりま
す、谷口久美さんの友情出演ということで参加させていただくこと
となりました。
今回は仕事上でも大先輩にあたります山本さんと、念願のデュエ
ットをさせて頂きます。この日を迎えることを二人とも非常に楽しみ
に、小貫先生、与那城先生の丁寧なご指導のもと、練習に励んで
まいりました。
また、日本を代表するメゾソプラノの澤村さんともデュエットをさせ
ていただく機会をいただきまして、大変光栄に思っております。
どうぞ皆様温かい心でご覧頂ければと思います。さらに、曲が終わ
りましたら盛大な拍手など頂けますとより幸いに存じます。
また、今回も白金カンタービレの会と同様に皆様の御厚意は国連
への寄付金とさせていただきます。
本日は誠にありがとうございました。

日頃の感謝と共に
新興商事株式会社 取締役副社長 長 慶太



特別出演

小貫岩夫

[テノール]

同志社大学及び大阪音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第11期修了。数々のコンクールで優勝、入選する。95年『魔笛』タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムらと共演しデビュー。翌年にはケムニッツ市立歌劇場（ドイツ）に同役で招聘出演し好評を得る。98年より文化庁派遣でミラノへ留学。2000年新国立劇場デビュー以来、二期会を中心に『鳴神』（市川国十郎演出）、『コジ・ファン・トゥッテ』（宮本亜門演出、文化庁芸術祭大賞受賞）などで活躍。また二期会公演『魔笛』（実相寺昭雄演出）には07年、10年と2回連続タミーノ役で出演し喝采を浴びた。近年は11年佐渡裕指揮『こうもり』アルフレード役のほか、13年から3年連続、二期会のオペレッタに主役で出演し演技力を発揮している。コンサートでは2011年、13年、15年にウィーンオペラ舞踏会 管弦楽団のニューイヤーコンサートのソリストとして舞台を飾った。2013年、天皇皇后両陛下御親覧のチャリティボールで演奏し、お言葉を賜る。二期会会員。二期会オペラ研修所講師。2010年、カメラータ・トウキョウから『いつも微笑みを-オペレッタ名曲集』をリリース。2015年、FlyingDogよりリリースされたアルバム『ハナハサク』には、作曲者菅野よう子と共演した『花は咲く-2015』が収められている。本年7月には2nd CD『ふたりのしらべ』をリリース予定。



特別出演

澤村翔子

[メゾソプラノ]

熊本県出身。東京学芸大学音楽科卒。04年国際ベルヴェデーレ・オペラコンクール日本代表ほか、国内外にて受賞。豊かな歌唱力と表現力、存在感ある演技力で注目される。07年より伊・ポローニャにてセルジョ・ベルトッキのもとで研鑽を積む。帰国後、「子どもと魔法」タイトルロールでデビューの後、小澤征爾音楽塾「蝶々夫人」、まつもと市民オペラ「フィガロの結婚」ケルビーノなど多くのオペラ・オペレッタに出演し多方面で活躍、いずれも高い音楽性を評価される。16世紀前半～現代までの幅広いレパートリーをもち、バロック・ルネサンス音楽においては、横須賀芸術劇場「ダイドーとイニーアス」出演をはじめとし、「ラ・カリスト」タイトルロールを演じ各方面から称賛されている。他に「ボッペアの戴冠」オッターヴィア、「ウリッセの帰還」ミネルヴァ、アントネッロによるカッチーニ「エウリディーチェ」ダフネ役で出演、NHK名曲アルバム、NHKBS「クラシック倶楽部」、連続テレビドラマ小説「ひよっこ」挿入歌のレコーディング参加など活躍の場を広げている。7月グラインドボーン音楽祭との提携公演『ばらの騎士』オクタヴィアン役にて出演予定。二期会会員



巨瀬 励起 [ピアノ]

東京芸術大学卒業。声楽・器楽の伴奏者、オーケストラの鍵盤楽器奏者として活動。オペラの分野では様々なプロダクションにスタッフとして参加する。2012年、世界的コントラバス奏者カタリーナ・ロタールと共演。14年、倉本絵里ら三人のソプラノ歌手の共演者として在英日日本国大使館主催の演奏会に出演。新国立劇場《バレエ・アステラス 2016》ではD. ガルフォース指揮／東京フィルハーモニー交響楽団と共演。



白井 篤 [バイオリン]

国立音楽大学付属音楽高校を経て、桐朋学園大学卒業。1999年、NHK交響楽団に入団。2004年、ウィーンにて初リサイタル開催。帰国後はN響での演奏を中心に、ソロや室内楽でも積極的に活動。2006年から浜離宮朝日ホールにて毎年リサイタルを開催。現在、クアルテット・リゾナンツァ1st violin、室内オーケストラ「ARCUS」メンバー、NPO法人「ハマのJACK」副理事。国立音楽大学、国立音楽大学付属中学・高校非常勤講師。NHK交響楽団2ndヴァイオリン・次席奏者。



海野 幹雄 [チェロ]

音楽一家に生まれ、14歳より母にチェロの手ほどきをうける。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園ディプロマコース修了。2008年より毎年、東京文化会館や銀座王子ホールにてソロリサイタルを開催。トリオ海（Meer）、室内オーケストラARCUS（アルクス）等多くのアンサンブル団体に所属。NPO法人「ハマのJACK」理事。アルバムに「海野幹雄 playsシューマン」がある。
公式ホームページ：mikio-unno.com



岡本 潤 [コントラバス]

東京藝術大学を経て2013年10月よりNHK交響楽団コントラバス奏者。2010・2011年小澤征爾音楽塾に参加。第8回北陸新人登竜門コンサートにて最優秀賞を受賞し、井上道義指揮・オーケストラ・アンサンブル金沢と共演。第21回宝塚バガコンクール入選。第15回コンセール・マロニエ21にて1位（2位該当者無し）、第5回秋吉台音楽コンクールにて2位を受賞。コントラバスを松中久儀・今野淳・永島義男の各氏に師事。



田中 晶子 [バイオリン]

5歳よりバイオリンを始める。第65回日本音楽コンクールバイオリン部門第一位入賞。桐朋学園大学卒業。第16回R・リビッツァ賞国際バイオリンコンクール入賞。平成12年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツに留学。これまで、多賀久三江、辰日明子、ザハール・ブロン各氏に師事。2006年NHK交響楽団入団。



村松 龍 [ヴィオラ]

埼玉県出身。東京音楽大学付属高等学校を経て同大学卒業。第49回全日本学生音楽コンクール東京大会小学生の部第2位。読売新人演奏会出演。沖縄国際音楽祭、若い人のためのサイトウ・キネン室内楽塾強会、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトなどに参加。これまでにヴァイオリンを井上將興、清水高師、久保陽子、ヴィオラを店村真積、河合訓子の各氏に師事。NHK交響楽団ヴィオラ次席奏者。オーケストラの他、室内楽でも活躍している。NPO法人「ハマのJACK」メンバー。

第2部

ヴェルディ作曲
歌劇「椿姫」より ハイライト

G.Verdi Highlights from *La Traviata*

[ヴィオレッタ Violetta] 谷口久美 (Sop)

[アルフレード Alfredo] 小貫岩夫 (Ten)

[ジェルモン Germond] 与那城 敬 (Bar)

白井 篤 (Vn.) 海野幹雄 (Vc.)

田中晶子 (Vn.) 村松 龍 (Vla.)

岡本 潤 (Cb.) 巨瀬励起 (Pf.)

海老原 光 (Cond.)

フィナーレ

ヴェルディ作曲
歌劇「椿姫」より “乾杯の歌”

Finale G.Verdi “Brindisi” from *La Traviata*

出演者全員





La Traviata —椿姫ハイライト—

紀尾井ホール 2017年6月1日(木) 19:00 / 主催：株式会社 ATORU / 協賛：株式会社日本スイス・パーフェクション SWISS PERFECTION
 協力：アニヴェルセル表参道、Mutsuko Nakamura (花職人) / 制作：田淵 敬 / 監修：佐藤美晴 / デザイン：森田恭行 (キガミッツ)
 照明：片山通子 (ASG) / 映写：G マーク / 字幕：Jimage Jimaku / 収録：梶浦政義 / 撮影：平館 平

寄付先からのメッセージ



難民を守る。難民を支える。
 国連UNHCR協会

国連の難民救助活動に協力したい。そのための公式支援窓口です。 国連UNHCR協会

UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約125カ国で援助活動を行っています。この国連の難民支援活動を支えるため、広報・募金活動を行う公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。皆様の温かいご支援に心より感謝を申し上げます。